



## 自動音声の電話に注意！

実在する業者をかたった詐欺電話の相談が多く寄せられています。

問合 消費生活センター（ステーションNビル3階） ☎753・5555

### 相談1

自動音声で「〇〇ファイナンスです。現在ご利用中の電話回線で未納料金があり、法的処置を取ります。オペレーターにつながり場合は①を押してください」と電話がかかってきた。①のボタンを押すと担当者につながり、個人情報を知られた後、電子マネーで未払い料金の支払いを要求された。

### 相談2

〇〇省から「2時間後に電話が使えなくなる」と、自動音声の電話がかかってきた。本当に使えなくなるのか。

自動音声の電話で、身に覚えのない料金を請求するトラブルが増えています。「電子マネーで支払え」は詐欺です。また「+」から始まる電話番号（国際電話）からかかってくるケースも多いようです。オペレーターにつながると、名前などの個人情報を聞かれるほか、ネットバンキングの情報などを聞かれ、お金を引き出されてしまった事例もあります。

非通知や、知らない番号からの電話には「出ない」「話を聞かない」「かけ直さない」ようにしましょう。電話で身に覚えのない請求をされても、慌てず、相手にせず無視しましょう。

一度お金を払ってしまうと、次々と被害に遭う可能性があります。お金を払う前に、周りの人に相談しましょう。不明なことがあれば、業者の公式サイトを確認してみましょう。注意喚起している場合も多いです。問い合わせは、公式サイトに記載されている電話番号にかけましょう。



## 健康相談



**Q** ヒートショック対策について教えてください。

**A** ヒートショックでの死亡者は年間1万人以上とほぼ横ばいで推移しており減少する傾向が見えてきません。交通事故による死者数をはるかに超えています。ヒートショックについては過去に何度か広報誌で注意喚起を行いました。未だに発生を抑えることができないため、繰り返し注意点を紹介します。

ヒートショックは室内での急激な温度差による血圧の急上昇・急低下が生じることにより、心筋梗塞・脳梗塞・脳出血などの脳・心血管障害が生じるため、一瞬で致命的となります。圧倒的に浴室で生じることが多いのですが、浴室には湯船、洗い場、脱衣場と主に3カ所の部屋があり暖かい湯船から寒い脱衣場までの移動で急激な温度変化にさらされることとなります。

### ヒートショック予防のポイント

● 脱衣場を温めておく。

※ストーブ使用時は火の取り扱いに注意してください。

- 浴室はあらかじめシャワーなどで温めておく。
- 湯船から出るときはゆっくりと立ち上がり急に立ち上がらない。
- 家族がいる際は声掛けをする。
- 飲酒後の入浴は絶対に避ける。
- 極度の長風呂は避けて、湯温は熱すぎない41℃程度に調整する。かけ湯をしてから入る。
- 体調が思わしくないときは入浴を避ける。

65歳以上の高齢者や高血圧、糖尿病、呼吸器疾患などの持病を持っている人は特に注意が必要ですが、若年層にも発生が報告されています。なかなか死者数が減らない原因は不明ですが、日本の住宅の構造上の問題や冬場のシーズン中心なのでなかなか啓蒙が行きわたらないことも関係しているかもしれません。

2月はヒートショックが一番多発する季節ですので、入浴時にはここに掲載したことを思い出してください。

池田市医師会

検索